



## 【歴史めぐりえ(5)】偉大なお医者さん、高松凌雲

### 〈江戸時代の小郡に生まれたお医者さん〉

いま 200年くらい前、小郡市の古飯というところで生まれた有名なお医者さんがいます。

名前を高松凌雲といい、江戸（今の東京）や大坂（＝大阪）でお医者さんになる勉強をしました。

### 〈傷ついた人はみんな治療する〉

凌雲がかつやくした時代は、日本の国が大きく変わろうとしていたときでした。そのため、日本のさまざまな場所で、考えのちがう人びとが対立し、ときにはたたかいになったりしていました。

たたかいは起こると、大勢のけが人がでます。凌雲は蝦夷（今の北海道）で、このようなたたかいで傷ついた人びとの治療をしました。そのとき、自分の味方だけでなく、敵であった人びとも、同じように治療をしたのです。

「傷ついた人はみんな治療する」という凌雲のつよい思いは、今の時代のお医者さんたちにもうけつがれています。

埋文センター  
イメージキャラクター「つこっこ」

